図書館だより

平成 31 年 4 月 23 日 蒲生高校図書館

いよいよ平成から令和へ元号が変わるときが近づいてきました。新しい時代、令和の幕開けです。 改元を機に、万葉集、皇室や年号についての知識を深めたり、平成のベストセラーを読んだりするのもよ いかもしれませんね。

蒲生高校図書館は特別棟4階にあります。教室棟からは少し離れていますが、皆さんが図書館を利用して くれるのをたくさんの本たちと心待ちにしています。

図書館利用案内

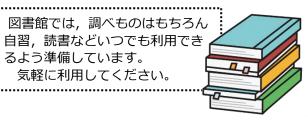
1年生は図書館オリエンテーションをまだ行っていませんが、2・3年生と同じように本を借りること も、図書館を利用することもできます。昼休みや放課後に図書館でゆっくり過ごすのもよいですよ。 新学期ですので,図書館利用案内をします。

◇開館時間

月曜日~金曜日 9:30~16:45

- ◇貸出冊数 ひとり5冊まで
- ◇貸出期間 2週間

図書館では、調べものはもちろん 自習、読書などいつでも利用でき るよう準備しています。 気軽に利用してください。



◇貸出・返却

学年・クラス・出席番号・氏名を伝え,借りたい本を司書に渡す。

◇予約・リクエスト

予約・リクエスト用紙に記入して司書に渡す。

◇図書館利用のマナーとエチケット

使った机・椅子, 消しゴムのかすは, きちんと片付ける。 使った本は, 元の場所に返す。 本を読みながら飲食しない。

2・3年生の皆さんへ

昨年度借りた本は すぐに 返却してください!

今年度より図書管理シス テムが新しくなりました。 前システムで借りた本の 返却をお願いします。



新聞は「南日本新聞」,「朝日新聞」の2誌,雑誌は6誌を講読しています。 世の中の動きや地域の話題など、新しい情報を知り、視野を広げるために、新聞や雑誌を積極的に読みま しょう。



[Number] 文藝春秋

あらゆるスポー ツの魅力を美麗な 写真とコラムで紹

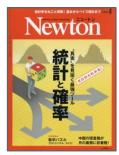
介するスポーツ総 合誌。



『TJカゴシマ』

斯文堂 月刊

ちょっとプラス な鹿児島情報をお 届け。



[Newton]

ニュートン・フ゜レス 月刊

科学の話題を面 白くビジュアルに 紹介。



[Piccolo]

学研プラス

隔週刊

保育デザイン・ 製作・アイディア 満載。



『新聞ダイジェスト』

新聞ダイジェスト社 月刊

1ヶ月の新聞記 事を分類整理。 時事問題・用語 解説も。



『日経 P C 21』

日経 BP マーケティング 月刊

「必ず使える, 必ず分かる」パソ コン誌。

2019年 本屋大賞受賞作の紹介

2019年本屋大賞が発表されました。

本屋大賞とは"売り場からベストセラー"をモットーに、全国の書店員が自分で読んで「面白かった」、「お客様にも薦めたい」、「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞です。

本の目利きが選ぶ旬の本をあなたも読んでみませんか? なんと,すべての本が図書館にあります!







大賞 『そして、バトンは渡された』

瀬尾まいこ 文藝春秋 血の繋がらない親の間をリレーされ, 4回

も名字が変わった森宮優子,十七歳。 だが,彼女はいつも愛されていた。身近な 人が愛おしくなる優しい物語。



6位 『さざなみのよる』

木皿泉 河出書房新社 小国ナスミ, 享年43歳。

息をひきとった瞬間から,その死は湖に落ちた雫の波紋のように,家族や友人,知人へと広がっていく。

命のまばゆいきらめきを描く,感動と祝福 の物語。



2 位 『ひと』

小野寺史宜 祥伝社

たった一人になった。でも, ひとりきりじゃなかった。

両親を亡くし,大学をやめた 20 歳の秋。 見えなくなった未来に光が射したのは,コ ロッケを1個,譲ったときだった。



7 位 『愛なき世界』

三浦しをん 中央公論新社

本村さんに恋をして, どんどん植物の世界 に分け入る藤丸青年。

小さな生きものたちの姿に, 人間の心の不 思議もあふれ出し・・・。

風変りな理系の人々とお料理男子が紡ぐ美味しくて温かな青春小説。



3 位 『ベルリンは晴れているか』

深緑野分 筑摩書房

1945年7月,4カ国統治下のベルリン。 米国の兵員食堂で働くドイツ人少女アウグステは、恩人の男の不審な死を知り、彼の甥 に計報を伝えるため旅立つ。

しかし、なぜか陽気な泥棒を道連れにする 羽目になり…。



8位 『ひとつむぎの手』

知念実希人 新潮社

大学病院で過酷な勤務に耐える平良祐介は 医局の最高権力者・赤石教授に3人の研修医 の指導を指示される。

さらに、赤石が論文データを捏造したと告発する怪文書が出回り、祐介は「犯人探し」を命じられ…。



4位 『熱帯』

森見登美彦 文藝春秋

どうしても読み終えられない本がある。 その名も『熱帯』。結末を求めてメンバーが 集結し、世紀の謎に挑む。



9位 『火のないところに煙は』

芦沢央 新潮社

「神楽坂を舞台にした怪談」を依頼された作家の「私」は、かつての凄惨な体験を振り返り、事件を小説として発表することで情報を集めようとするが…。

予測不可能な展開とどんでん返しの波状攻撃にあなたも必ず騙される。



5位 『ある男』

平野啓一郎 文藝春秋

彼女の夫は「大祐」ではなかった。 夫であったはずの男は,まったく違う人物で あった。

愛にとって,過去とは何か?人は他人の人生を生きることができるのか?



10位 『フーガはユーガ』

伊坂幸太郎 実業之日本社

常盤優我は仙台市のファミレスで一人の男に語り出す。双子の弟・風我のこと,決して幸せでなかった子供時代のこと,そして,彼ら兄弟だけの特別な「アレ」のこと。

僕たちは双子で、僕たちは不運で、だけど 僕たちは、手強い。



4/2 3 は「子ども読書の日」,4/2 3~5/1 2 は「こどもの読書週間」。 そして,まもなく 1 0 連休の GW です。 GW は,読書を楽しみませんか。

